

貸 借 対 照 表

2019年3月31日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
〔資産の部〕	円	〔負債の部〕	円
<b>流 動 資 産</b>	<b>1,827,586,894</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>1,076,168,762</b>
現金及び預金	45,402,329	買掛金	335,209,240
売掛金	741,983,450	未払金	110,170,446
未収入金	26,576,126	未払費用	457,578,432
立替金	1,213,360	未払法人税等	212,500
貯蔵品	30,047,133	未払消費税等	93,485,800
前払費用	18,317,927	預り金	46,426,484
預け金	964,046,569	前受収益	45,360
		賞与引当金	33,040,500
<b>固 定 資 産</b>	<b>144,864,247</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>92,139,210</b>
有形固定資産	60,923,622	退職給付引当金	88,988,210
建物	7,206,552	役員退職慰労引当金	3,151,000
車両運搬具	2,316,673		
工具器具備品	51,400,397		
無形固定資産	13,738,001		
ソフトウェア	12,379,501	負債合計	<b>1,168,307,972</b>
電話加入権	1,151,000	〔純資産の部〕	
その他	207,500	<b>株 主 資 本</b>	804,143,169
投資その他の資産	70,202,624	<b>資 本 金</b>	10,000,000
差入敷金及び保証金	12,267,570	<b>資 本 剰 余 金</b>	264,103,897
長期前払費用	745,250	資本準備金	1,870,000
繰延税金資産	56,981,014	その他資本剰余金	262,233,897
その他	241,190	<b>利 益 剰 余 金</b>	530,039,272
貸倒引当金	△32,400	利益準備金	630,000
		その他利益剰余金	529,409,272
		繰越利益剰余金	529,409,272
		純資産合計	<b>804,143,169</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>1,972,451,141</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,972,451,141</b>

## 個別注記表

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 総平均法に基づく原価法

#### 2. 固定資産の減価償却方法

##### (1) 有形固定資産

1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物・・・定額法  
その他・・・・・・・・・・定率法

##### (2) 無形固定資産

ソフトウェア(自社利用)・・・社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法  
その他・・・・・・・・・・定額法

#### 3. 引当金の計上基準

##### (1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

##### (2) 賞与引当金

従業員の賞与支給に充てるため、支給見込額のうち当期負担分を計上しております。

##### (3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、期末日における退職給付債務の額を計上しております。

##### (4) 役員退職慰労引当金

役員退職慰労金の支払に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

#### 4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

##### (1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

##### (2) 連結納税制度の適用

阪急阪神ホールディングス株式会社を連結親法人とする連結納税制度の適用を受けております。

#### 5. 表示方法の変更に関する注記

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当事業年度より適用し、繰延税金資産は、投資その他の資産の区分に表示しております。

### 当期純利益

102,754,854 円